



図書館へ行こう!

外はすっかり暖かくなり、景色を眺めるにも外での作業にも良い季節になってきました。

冬の間にはすっかりなまってしまった体をこの季節に動かしてみてはいかがでしょうか。

適度な運動は認知症の予防にも良いそうです。ぜひ図書館へ徒歩でいらしてみてください。鎌ヶ谷市内には本館と5つの分館があります。いつもとは違う館へ足を延ばしてみるのも良いですね。お友だちやご夫婦でしりとりなど別のことをしながら歩くと更に脳に良いそうですよ。

ただし、日差しのきつい日もありますから、くれぐれも熱中症に気を付けて、水分補給を忘れずに自分に合った運動を心がけて下さいね。



本館のアクティブ・ライフ展示は今年度から“趣味・知識”“健康”“お金のこと”の3つのテーマで展示を行ないます。5月からは『料理』『物忘れと認知症』『年金』を題材に展示を行ない、6月からは“健康”の展示が『健康づくり』に、7月からは“お金のこと”の展示が『税金』にかわります。ぜひ新しい展示も見にいらしてください。

図書館でなにしよう?

～散策しよう～



知った街と思いつつも歩いてみれば新しい発見があるものです。今回は散策に役立ててほしい本を紹介します。

新京成沿線で散策を楽しむのなら『おでかけ日和』(新京成電鉄株式会社 // 企画 株式会社扶桑社 カスタム出版 // 編集 新京成電鉄)がおすすめです。新京成線の各駅ごとの見どころが掲載されています。電車も使っていつもとは違う街でお店や風景を楽しんでみてはどうでしょう。

道を歩いていると花の名前や鳥の名前、虫の名前などが気になる事もありますよね。散歩のお供に図鑑を持ってみてください。『日本の生きもの図鑑』(講談社 // 編 石戸 忠 // 監修 今泉 忠明 // 監修 講談社)は持ち歩きやすいサイズで、植物、動物、虫や鳥ものっている図鑑です。

せっかく歩くのならば良いフォームで歩きたいという方には『介護予防のためのウォーキング』(中村 容一 // 著 黎明書房)はいかがでしょうか。いつまでも元気でいるために、体を動かしてみましよう。

『おでかけ日和
2018年版』

新京成電鉄株式会社/企画
株式会社扶桑社
カスタム出版/編集

鎌ヶ谷大仏(市指定文化財)がある大仏墓地(鎌ヶ谷1丁目)には、もう一つの市指定文化財があります。戊辰戦争の一つ「市川・船橋戦争」で戦死した新政府軍の佐土原藩兵2名を葬った「官軍兵士の墓」です。



今からちょうど150年前の慶応4年(1868)閏4月3日、鎌ヶ谷宿しゆくに分宿していた佐土原藩兵

約120名は、木下街道を現在の船橋市境付近まで進軍したところ、待ち伏せをしていた旧幕府軍と交戦し、双方に死傷者がでました。

このうち、佐土原藩側は3名が死亡し、そのうち2名を大仏墓地に埋葬しました。

戦死したのは、みのもじうえもん 箕毛次右衛門という藩士と「ふそつ 夫卒」のみのすけ 巳之助で、直後に小さな墓石が建てられました。さらに、明治19年(1886)には、千葉県によりそれぞれ新しい墓石が建てられました。そして第二次世界大戦前後まで、県からの補助金が交付され、地元の人たちによる管理が行われていました。

なお、市川・船橋市域にも新政府軍・旧幕府軍の戦死した人の墓石が残されています。

文責：鎌ヶ谷市郷土資料館

市川・船橋戦争については『市川・船橋戦争 幕府陸軍撤兵隊始末』山形 紘/著(崙書房)と言う本が図書館本館にて所蔵しています。貸出しはできませんが、興味のある方はぜひ本館まで読みに来てください。

葉

—人間の気持ちとは可笑しいものですね。どうしようもなく些細な日常に左右されている一方で、風の感触や初夏の気配で、こんなにも豊かになれるのですから。— (『新しい旅』より)

—この文章を書いた星野道夫は、日本を離れアラスカへ向かいました。人間は自然の中でしか生きられません。が、土地を選ぶことはできません。

—「寒いことが人の気持ちを暖める。離れていることが、人と人とを近づける」— (『アラスカに暮らす』より)

毎年圧倒的に咲き、あつという間に散る桜が伝えるメッセージも、その実、逆なのかもしれません。次の季節の感触を探しながら、市川のギャラリー—まで散歩してみるのはいかがですか。

『星野道夫著作集3』星野道夫著 新潮社
「没後20年 星野道夫の旅セレクション展」
於 市川 芳澤ガーデンギャラリー
(2018年6月6日まで 休館日など詳しくはギャラリーまで)

図書館の開館時間

本館・東部分館 火曜～土曜は9時～20時まで、日曜・祝日は9時～17時まで
その他の分館 9時～16時45分まで

図書館休館日

5月:1日、7日、14日、21日、28日、31日
6月:4日、11日、18日、25日、29日
7月:2日、9日、17日、23日、27日、30日

